

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作と畑作が主体の中間農業地域
- 家族経営が大部分を占め、高齢化の進展や後継者不足に伴い、地域の担い手の不足が課題

【支援内容・背景】

- 地区では、高齢化、後継者不足により、農地の集積及び受け手となる地域の担い手の確保・育成と中心となる経営体の生産体制の強化が必要。
- 助成対象者は地区内で水稻、大豆(黒大豆)、イチゴ等の生産と6次産業化を実践し、多角経営に取り組むなど、今後、経営面積の拡大が見込まれており、地域特産物生産を支援するとともに、地区における担い手を育成。



助成対象者「株式会社 丹波たぶち農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成14年 農事組合法人設立
- 平成29年 ~令和2年 GLOBAL G.A.P取得
- 平成30年 有機JAS取得
- 令和 4年 株式会社へ組織変更

《事業活用の背景》

- 黒大豆を中心とした経営面積の拡大を図るためには、作業効率と品質の向上が必要。
- 黒大豆枝豆の量産や黒大豆と米の品質向上、湿田での作業効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

○経営面積

・水稻	53. 0ha
・黒大豆	8. 4ha
・黒大豆枝豆	2. 6ha
・小豆	0. 6ha
・イチゴ	0. 1ha

○売上高 150百万円

《事業による整備内容》

- ハーフトラクター(63ps) 1台
- トラクター(63ps) 1台
- 乗用管理機 1台
- えだまめ収穫機 1台
- 粃摺り、色彩選別ライン1式

事業費 39,579千円
(国費 18,321千円)

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○経営面積(131%)

・水稻	58. 6ha(110%)
・黒大豆	4. 7ha
・黒大豆枝豆	9. 2ha(353%)
・小豆	0. 6ha
・イチゴ	0. 1ha

○売上高 200百万円(133%)

事業の効果

《対象者》 高性能機械の導入により、水稻並びに大豆の作業効率が向上し、経営面積の拡大が図られるほか、枝豆の適期作業が可能になり、出荷量、売上高の増加が実現。

《地区》 地域特産物の生産体制の強化が図られることにより、担い手への農地集積、耕作放棄地解消が実現。